

個別最適な学び研究事業

学びの改革支援課

1 事業目的

教師が一斉一律に教えるのではなく、児童生徒一人ひとりが個人で学ぶ、仲間と共に学ぶ、教師の説明を聞いて学ぶ等、自分の適性に応じた学び方を選択し、自ら学習を調整し、最適化する学びを実現する。

「個別最適な学び」の研究

これまで

みんな同じことを同じように学ぶ
言われたことを言われたとおりに学ぶ

↓
「唯一の正解にたどり着く」学び
一斉一律に教わる



これから

学び方を選択し自分のペースで学ぶ
自分なりの問いを自分なりの方法で学ぶ

↓
「自分で解を導き出す」学び
それぞれの子どもが自律的に学ぶ

2 現状と課題

県内でも自由進度学習等に独自に取り組み始めた小中学校があるが、どのように進めればよいか戸惑っている学校もある。

3 事業内容

アドバイザー派遣や先進校視察、情報提供などの支援を行い、小中学校において実践研究を推進（小中学校4校）するとともに、実践校の取組を定期的に情報発信する。

（取組イメージ①）

（取組イメージ②）



4 令和5年度予算額 128万8千円